

にぎわい通信



【トピック】

- 伊万里港 開港40周年記念！
- 対馬「国境を越えての環境活動！」
- 唐津港「飛鳥Ⅱ」初寄港！

伊万里港

新海流 IMARI 2007「五感体験 伊万里みなと祭り」開催

伊万里港では、伊万里港開港40周年、コンテナターミナル開設から10周年、中国・大連市との友好交流開始から20年という節目の年を向かえ、伊万里港のさらなる飛躍を目指すとともに、今後、東アジアをにらんだ人や物、情報の交流拠点化を推進していくために、市民挙げての記念事業「新海流IMARI 2007」の第1弾として「五感体験 伊万里みなと祭り」を9月29日、30日の2日間、開催しました。

イベント内容は、波多津みなと祭りの皆さんによる船漕ぎ舟の体験やレース、海鮮バーベキュー、黒川町凧揚げ実行委員会の皆さんによる大凧揚げ、伊万里市ごみ対策協議会の皆さんによるリサイクルフェア、海上自衛隊の掃海艇と海上保安庁の巡視船による体験航海、物産展やフリーマーケット、テレビでおなじみの「さかなクン」によるトークショーなど様々なイベントを実施しました。

祭り当日は2日間とも天候に恵まれ、市内外から約2万人の来場者があり、多くの皆さんに発展を遂げた伊万里港を、直接肌で感じていただき、伊万里港の持つ魅力を十分に堪能していただきました。



対馬

国境を越えての環境活動！ ～海岸清掃 & 第2回 日韓学生つしま会議～

【海岸清掃】

5月26日(土)、27日(日)の2日間、来島した韓国の釜山外国語大学の生徒100名と、市民ボランティアを合わせ、延べ452人が今回の清掃活動に参加し、4トントラック32台分ものゴミを回収しました。ゴミの中でも特に多かったのは、漁具と思われる発泡スチロール、浮き、網や、産業廃棄物、そしてペットボトルなどの家庭ゴミでした。

真夏のような日差しの中参加者達は汗だくになりながら、ゴミを集め、また、学生の多くは日本語学科の学生のため簡単な日本語を話すことができ、作業の合間に市民との会話に花を咲かせていました。

【第2回日韓学生つしま会議】

10月6日から3日間、日韓の学生が対馬に集い、環境へ悪影響を及ぼしている漂着ゴミ問題の深刻さと今後の対策について考える日韓学生つしま会議が開催されました。日韓学生つしま会議は今回で2回目となり、今年は日本側から長崎、福岡、宮崎などの学生82名が参加し、韓国側からは釜山市の東亜大学校から47名の学生が参加しました。

まず学生たちは実際に漂着ゴミの回収作業を行い、海岸に打ち上げられた漁具やプラスチック容器などを集め、その後、いかに漂着ゴミをなくすかをテーマに班別に発生原因と今後の対策について意見交換し結果を発表しました。

問題のまとめとして、「消費者である自分たちは漁業者の立場になって考えることは難しく、また、日本以外の国のゴミの状況を把握できていない。解決には、国や産業などさまざまな立場の人を巻き込んで、一緒に考え取り組んで行く必要がある。」と結論づけました。

会議に出席した学生がこの問題について意識を共有し、その深刻さを自国の多くの人に伝えることで、社会全体での問題意識が高まるのが、解決へ向けた第一歩となります。

[対馬市(広報つしま)より抜粋]



分析・検討結果の発表



唐津港

大型客船「飛鳥Ⅱ」 唐津港初寄港！！



唐津港に入港する「飛鳥Ⅱ」大島山山頂から撮影（佐賀県唐津港利用促進協議会）

平成 19 年 9 月 27 日大型客船「飛鳥Ⅱ」（乗客約 800 人、50,142t）が唐津港へ入港しました。乗船客は、横浜、神戸からの方が多く、旧高取家住宅や虹ノ松原、高島（宝当神社）、呼子朝市、名護屋城址（博物館）等を見学されました。

また、当日は佐賀県唐津港利用促進協議会による入港歓迎行事や、物産展、一般公募者や小学生による船内見学会が開催され、多くの見物客が訪れました。今回は入港時において、唐津小型船安全協会、玄海セーリングクラブによる海上パレード、海上保安庁船による放水が行われ、乗船客に披露いたしました。

特に、好評だったのが、出港時に見送りに来た市民約 500 人に 200 本のペンライトを配布し、花火を打ち上げたことで、見物客も満足しておられました。出港時には、見物客と乗船客の声の掛け合いが長く続きました。



夕暮れに唐津港に停泊する「飛鳥Ⅱ」（佐賀県唐津港利用促進協議会）



唐津小型船安全協会によるパレード

唐津海上保安部による放水

ヨットによる出迎え



入港時の歓迎垂れ幕



吉田副市長より歓迎の挨拶



地元各地の物産展



小学生による社会科見学（4年生）



ペンライトによる見送り



花火による見送り

